

令和元年度  
○評価表  
○取組内容

県立広島病院

【令和元年度 評価表】

取組方針 / 取組項目			取組総括	自己評価 ( )はH30	委員会評価 ( )はH30	委員会意見
<b>I 医療機能の強化</b>						
①	救急医療の強化	○救急医療機能の強化 ○ドクターヘリ事業への支援	・救急受入の応需率向上の取組を続けた結果、救急車受入台数は前年度と同程度を維持し目標も達成。また、ドクターカーの運用など、地域の救急医療に貢献することができた。	◎(◎)	◎(◎)	略
②	脳心臓血管医療の強化	○脳心臓血管医療機能の強化	・脳心臓血管センターの新規入院患者数は目標を達成した。血管内治療の件数も増加するなど、脳心臓疾患への高度な医療提供を行うことができた。	○(○)	○(○)	略
③	成育医療の強化	○成育医療機能の強化	・NICUの受入患者増、超低出生体重児の受入、ハイリスク分娩の受入など、成育医療センターとして、地域の周産期医療に貢献することができた。	○(○)	○(○)	略
④	がん医療の強化	○がん医療機能の強化	・がん患者数(入院)は前年度から増加し、目標を達成できた。消化器センターと呼吸器センターの新規入院患者数は目標を達成し、がんゲノム医療も推進することができた。	◎(○)	◎(○)	略
⑤	医療安全の確保	○医療安全の確保	・転倒・転落発生率(レベル2以上)は目標を達成した。しかし、アクシデント件数が前年度から増加し、また病棟の麻薬管理等において一部不適切な取扱いがあった。	○(◎)	○(◎)	略
⑥	医療の質の向上	○医療の質の向上	・クリニカルパス使用率が前年度実績を下回ったが、全国平均は上回った。また、早期離床リハビリテーション加算の取得に向けて取り組んだ。	○(○)	_(○)	略
⑦	危機管理対応力の強化	○災害対策の強化	・DMAT研修参加は前年度を上回り、災害対応のための院内の体制・人材育成に努めたが、目標件数を1件下回った。	◎(◎)	◎(◎)	略
⑧	地域連携の強化	○地域医療連携	・医師同伴での医療機関訪問、地域医師会との懇談会、病診連携カンファレンスなどを行い、紹介率・逆紹介率ともに目標を達成し、地域医療機関との連携を深めることができた。	◎(◎)	◎(○)	略
<b>II 人材育成機能の維持</b>						
⑨	医療人材の育成・確保	○医師の確保・育成 ○看護師等の確保・育成 ○医療人材の派遣等	・指導医数、新人看護師の離職率ともに目標を達成することができなかったが、院内研修への地域医療従事者の受入、職員の講師派遣など、地域の医療人材育成に貢献することができた。	○(◎)	○(◎)	略
<b>III 患者満足度の向上</b>						
⑩	患者満足度の向上・広報の充実	○患者満足度の向上 ○広報の充実	・患者アンケートにおける患者満足度において、入院・外来の総合満足度は目標を達成することができたが、外来待ち時間の満足度は目標を達成することができなかった。	○(○)	○(○)	略
⑪	業務改善	○TQMサークル活動の推進 ○5S活動の推進 ○院外への普及活動	・継続してTQMIに取り組み、手法取得者数(累計)の目標を達成するなど、職員への理解を促進させた。また、地域の医療機関と連携して研修会を開催することができた。	◎(◎)	◎(◎)	略
<b>IV 経営基盤の強化</b>						
⑫	経営力の強化	○情報共有とPDCA ○病棟・病床運営の弾力的な運営 ○高度急性期機能を目指しDPC特定病院群の維持	・新規入院患者数、病床稼働率ともに前年度を下回り、目標を達成することができなかった。しかし、平均在院日数の短縮や入院期間Ⅱ超えの割合の低下などの成果は上がった。	△(○)	△(○)	略
⑬	増収対策	○医業収益の増加策 ○診療報酬請求の改善 ○未収金対策	・入院日数の適正化に継続して取り組み、入院単価は目標を達成した。しかし、延入院患者数の減少により、収支は悪化し、レセプト査定額についても改善が進まなかった。	○(○)	○(○)	略
⑭	費用合理化対策	○適正な材料・備品の購入 ○経費の見直し	・材料費比率が上昇し目標を達成できなかった。光熱水費の削減に取り組んだが、共同購入の推進など、経費の見直しがまだ不十分である。	△(△)	△(△)	略
<b>V 目標指標</b>						
⑮	決算の状況		・医業収益は前年から増加したが、材料費の増加などにより経常収支及び最終収支が目標を下回り、赤字となった。	△(○)	△(○)	略
⑯	目標指標の達成状況		・27項目中、未達成が11項目あるが、その他の16項目は目標を達成することができた。	-	-	略

# I 医療機能の強化 ①救急医療の強化

	H30	R元
自己評価	◎	◎
委員評価	◎	◎

## 《取組方針》

- ・将来の広島都市圏における救急医療に対応するため、高度・複雑・重症な救急患者の受入体制を強化します。
- ・幅広い疾患の患者に対応できる総合診療医を育成するとともに、総合診療科と救急科が連携した2次救急医療を一体的・効率的に提供します。
- ・県内全域を対象に活動するドクターヘリ事業の協力病院として、必要な人員を確保し、運航体制を支援します。

《R元》 取組項目 / 取組内容		取組総括																																																																																																																																																									
<b>救急医療機能の強化</b> <p>○救急患者受入要請の応需率向上に向けた取組〔H28.8～継続〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当直開始時の関係者ミーティング</li> <li>・院内の救急部会での救急患者受入要請の応需事例の検証</li> </ul> <p>○広島市医師会運営の病院群輪番制度への引き続き参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外科輪番〔H29.3～月2回程度〕</li> <li>・整形外科輪番〔H29.7～月2回程度〕</li> </ul> <p>○内科救急診療部の設置〔H31.4～〕 実績:818人受入 内科救急患者の窓口を一本化し迅速な対応を行う。</p> <p>○ドクターカーの導入・運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.7からのドクターカー運用開始〔平日8:30～17:15〕</li> </ul> <p>令和元年出動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">要請 件数</th> <th rowspan="2">出動 件数(途中キ ャンセル含)</th> <th colspan="5">出動件数内訳</th> <th colspan="2">搬送先(人)</th> </tr> <tr> <th>現場 救急</th> <th>施設間 搬送</th> <th>新生児 搬送</th> <th>県立広 島病院</th> <th>その他医 療機関</th> <th>不搬送</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>51</td><td>47</td><td>31</td><td>1</td><td>3</td><td>28</td><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><td>5月</td><td>43</td><td>38</td><td>22</td><td>0</td><td>3</td><td>16</td><td>12</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>53</td><td>50</td><td>27</td><td>2</td><td>3</td><td>22</td><td>8</td><td>2</td></tr> <tr><td>7月</td><td>64</td><td>59</td><td>39</td><td>2</td><td>4</td><td>35</td><td>10</td><td>2</td></tr> <tr><td>8月</td><td>53</td><td>51</td><td>26</td><td>2</td><td>4</td><td>24</td><td>9</td><td>2</td></tr> <tr><td>9月</td><td>54</td><td>49</td><td>30</td><td>2</td><td>2</td><td>31</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>10月</td><td>54</td><td>51</td><td>29</td><td>2</td><td>7</td><td>31</td><td>7</td><td>0</td></tr> <tr><td>11月</td><td>64</td><td>55</td><td>22</td><td>1</td><td>5</td><td>21</td><td>7</td><td>0</td></tr> <tr><td>12月</td><td>51</td><td>47</td><td>22</td><td>0</td><td>5</td><td>11</td><td>11</td><td>5</td></tr> <tr><td>1月</td><td>67</td><td>63</td><td>36</td><td>0</td><td>4</td><td>24</td><td>13</td><td>3</td></tr> <tr><td>2月</td><td>59</td><td>47</td><td>21</td><td>2</td><td>2</td><td>14</td><td>10</td><td>1</td></tr> <tr><td>3月</td><td>64</td><td>55</td><td>30</td><td>0</td><td>4</td><td>21</td><td>10</td><td>3</td></tr> <tr><td>計</td><td>677</td><td>612</td><td>335</td><td>14</td><td>46</td><td>278</td><td>105</td><td>22</td></tr> </tbody> </table>			要請 件数	出動 件数(途中キ ャンセル含)	出動件数内訳					搬送先(人)		現場 救急	施設間 搬送	新生児 搬送	県立広 島病院	その他医 療機関	不搬送	4月	51	47	31	1	3	28	7	2	5月	43	38	22	0	3	16	12	0	6月	53	50	27	2	3	22	8	2	7月	64	59	39	2	4	35	10	2	8月	53	51	26	2	4	24	9	2	9月	54	49	30	2	2	31	1	2	10月	54	51	29	2	7	31	7	0	11月	64	55	22	1	5	21	7	0	12月	51	47	22	0	5	11	11	5	1月	67	63	36	0	4	24	13	3	2月	59	47	21	2	2	14	10	1	3月	64	55	30	0	4	21	10	3	計	677	612	335	14	46	278	105	22	<p>★救急車受入台数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,049台</td> <td>5,850台</td> <td>6,089台</td> <td>+199台</td> <td>▲40台</td> </tr> </tbody> </table> <p>うち3次救急患者数 R元実績:883人(+122人) H30実績:761人</p> <p>□救急隊・他院からの救急患者受入要請応需率 R元実績:86.1%(+1.3%) H30実績:84.8% 《時間帯別》 平日日中帯 R元実績:97.1%(+4.9%) H30実績:92.2% 当直時間帯 R元実績:80.3%(▲1.8%) H30実績:82.1%</p> <p>□緊急手術件数 R元実績:888件(▲75件) H30実績:963件</p> <p>□ドクタカー出動件数(4月～3月)(平均月33件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出動件数</th> <th>内キャンセル</th> <th>現場救急</th> <th>新生児搬送</th> <th>施設間搬送</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>612件</td> <td>217件</td> <td>335件</td> <td>46件</td> <td>14件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※搬送先の7割が当院へ搬送(278件/(612-217)件)</p> <p>&lt;参考:厚生労働省(救命救急センターの充実段階評価)&gt;</p> <p>□県内の救命救急センター(7か所)における 重篤患者受入数 H30:5,875人 うち県立広島病院の受入数:998人 ※県内2位 全体に占める割合:17.0%(対前年▲2.3%)</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	6,049台	5,850台	6,089台	+199台	▲40台	出動件数	内キャンセル	現場救急	新生児搬送	施設間搬送	612件	217件	335件	46件	14件
	要請 件数				出動 件数(途中キ ャンセル含)	出動件数内訳					搬送先(人)																																																																																																																																																
		現場 救急	施設間 搬送	新生児 搬送		県立広 島病院	その他医 療機関	不搬送																																																																																																																																																			
4月	51	47	31	1	3	28	7	2																																																																																																																																																			
5月	43	38	22	0	3	16	12	0																																																																																																																																																			
6月	53	50	27	2	3	22	8	2																																																																																																																																																			
7月	64	59	39	2	4	35	10	2																																																																																																																																																			
8月	53	51	26	2	4	24	9	2																																																																																																																																																			
9月	54	49	30	2	2	31	1	2																																																																																																																																																			
10月	54	51	29	2	7	31	7	0																																																																																																																																																			
11月	64	55	22	1	5	21	7	0																																																																																																																																																			
12月	51	47	22	0	5	11	11	5																																																																																																																																																			
1月	67	63	36	0	4	24	13	3																																																																																																																																																			
2月	59	47	21	2	2	14	10	1																																																																																																																																																			
3月	64	55	30	0	4	21	10	3																																																																																																																																																			
計	677	612	335	14	46	278	105	22																																																																																																																																																			
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																																																																																																																																																							
6,049台	5,850台	6,089台	+199台	▲40台																																																																																																																																																							
出動件数	内キャンセル	現場救急	新生児搬送	施設間搬送																																																																																																																																																							
612件	217件	335件	46件	14件																																																																																																																																																							
<b>ドクターヘリ事業への支援</b> <p>○ドクターヘリ事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運航体制の支援〔H25～継続 週3日〕</li> </ul>		<p>□ドクターヘリ搬送(受入)患者数 R元実績:80人(+1人) H30実績:79人</p>																																																																																																																																																									
		<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科救急診療部を設置し、内科疾患の救急紹介・救急患者(救急車)に対する窓口を一本化し、患者の仕分けを効率的に行った。また、ドクターカーも継続して運用し、これらの救急患者受入向上に向けた取組により、救急車受入台数は前年度並みを維持でき目標を達成し、地域の救急医療に貢献することができた。</li> <li>・ドクターヘリ協力病院として、医師・看護師を派遣し、事業の継続に協力し一定数の患者を受け入れた。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日夜間の救急応需率を改善して、救急患者の受入増加を図る。</li> <li>・救急を目指す若手医師(後期研修医)を確保するための、指導体制・研究環境の整備を図る。</li> </ul>																																																																																																																																																									

# I 医療機能の強化 ②脳心臓血管医療の強化

	H30	R元
自己評価	○	○
委員評価	○	○

## 《取組方針》

- ・高齢化に伴い増加する脳・心臓疾患の患者に対応して、広島都市圏の脳卒中医療等、発症予防から再発防止までの一連の医療についての地域連携体制を構築します。
- ・脳心臓血管センターによる高度で専門的な治療の提供を強化します。
  - ◆脳 ~24時間体制の血管内治療, 外科治療が可能な脳卒中急性期
  - ◆心臓~24時間体制のインターベンション治療(PCI), 外科的治療が可能な心血管疾患急性期

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括										
<p><b>脳心臓血管医療機能の強化</b></p> <p>○地域の医療従事者との連携強化 ・毎月の病院広報誌で脳心臓血管センターのPRコーナーを設け治療内容を開業医に紹介</p> <p>○脳心臓血管センターカンファレンスの実施 ・ミニレクチャーと症例検討について、毎月2回実施</p> <p>○急性期リハビリテーションの早期介入の推進 ・早期離床・リハビリテーション加算の実施 [R2.3月～開始] R2.3実績:88件</p> <p>○低侵襲の検査分析方法の導入(FFRCT) ・[R元10月～ R元実績:19件] [循環器内科] 県内初導入(2018年12月に保険収載)</p>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳心臓血管センターの新規入院患者数は、前年度実績及び目標数を上回ることができた。</li> <li>・インターベンション治療件数(PCI)など、血管内治療の件数が前年度から増加し、高度で専門的な治療の提供ができた。</li> <li>・低侵襲の検査分析が可能な高度な技術である心臓CTデータを使った検査方法(FFRCT)の導入を図った。</li> <li>・病院として早期離床リハビリテーション加算を開始した。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳卒中・循環器病対策基本法(H30.12)が制定されたことから、当院でもそれに沿った脳心臓血管センターの取組を進める必要がある。</li> </ul>										
<p>★脳心臓血管センター新規入院患者数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,990人</td> <td>2,850人</td> <td>2,882人</td> <td>+140人</td> <td>+108人</td> </tr> </tbody> </table> <p>うち救急車からの入院件数 R元実績:860件(▲50件) H30実績:910件</p> <p>□脳心臓血管センター紹介患者数 R元実績:1,904件(▲12件) H30実績:1,916件</p> <p>□主な血管内治療件数 R元実績:962件(+69件) H30実績:893件 うちインターベンション治療件数(PCI) R元実績:453件(+4件) H30実績:449件</p> <p>□急性期リハビリテーション件数</p> <p>①脳血管疾患リハビリテーション件数 R元実績:27,779件(▲6,450件) H30実績:34,229件</p> <p>②心大血管リハビリテーション件数 R元実績:7,269件(+351件) H30実績:6,918件</p> <p>③早期リハビリテーション加算件数 R元実績:54,390件(▲12,875件) H30実績:67,265件</p> <p>(参考)脳心センター構成各科の在院日数 脳神経内科:11.4日(△1.4日), 脳神経外科:14.8日(△2.3日), 循環器内科:6.8日(△0.2日), 心臓血管外科:13.7日(△0.5日)</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	2,990人	2,850人	2,882人	+140人	+108人	
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比							
2,990人	2,850人	2,882人	+140人	+108人							

※脳心臓血管センター関係診療科:脳神経内科, 脳神経外科, 循環器内科, 心臓血管外科

※インターベンション治療件数(PCI):経皮的冠動脈形成術, 経皮的冠動脈ステント留置術

# I 医療機能の強化 ③ 成育医療の強化

## 《取組方針》

- ・ハイリスク分娩への対応、低出生体重児等の受入体制を強化するとともに、分娩件数の増加を図ります。
- ・出生前から成人に至るまで、高度で一貫した医療を提供する「成育医療センター」の機能強化を図ります。

	H30	R元
自己評価	○	○
委員評価	○	○

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括																																																
<p><b>成育医療機能の強化</b></p> <p>○合併症妊娠や重症妊娠高血圧症候群、切迫早産などリスクの高い妊娠に対応</p> <p>○退院時合同カンファレンスの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長発達の促進、親子関係形成のための支援、1,000g以下の超低出生体重児、双胎、医療ケアが必要な家庭等</li> </ul> <p>○看護師・助産師が協力した分娩期の看護体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩件数: 631件(▲30件)</li> <li>・助産外来実施件数230件(+61件)</li> <li>・マタニティー相談件数: 498件(±0件)</li> <li>・マタニティークラス実施件数: 436件(▲46件)</li> </ul> <p>○専門性を発揮した看護の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産・産後における心理的ケアなど、専門性を発揮した看護を実施</li> <li>・産後2週間健診306件(+164件)</li> <li>・母乳外来157件(▲12件)</li> </ul> <p>○周産期の防災対策 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策のマニュアル作成</li> <li>・災害派遣ナースの養成</li> <li>・ドクターカーへの看護師同乗を開始、搬送中の児の状態安定化と家族支援を担う。</li> </ul>	<p>★NICU・GCU患者数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,189人</td> <td>10,400人</td> <td>10,056人</td> <td>▲211人</td> <td>+133人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□新生児科新規入院患者数 R元実績: 502人 (+4人) H30実績: 498人</p> <p>□1,000g未満の新生児受入患者数 [パス入院以外] R元実績: 27人(+6人) H30実績: 21人</p> <p>□1,000~1,500g未満の新生児受入患者数 [パス入院以外] R元実績: 25人(▲9人) H30実績: 34人</p> <p>□新生児搬送受入件数(救急車・ヘリ) R元実績: 123人(▲17人) H30実績: 140人 うち当院医師が迎えに行き搬送した件数 R元実績: 111件(▲14件) H30実績: 125件</p> <p>★緊急母体搬送受入件数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>131件</td> <td>150件</td> <td>160件</td> <td>▲19件</td> <td>▲29件</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ハイリスク分娩管理加算件数 R元実績: 延べ913件(▲133件) H30実績: 延べ1,046件</p> <p>□ハイリスク妊娠管理加算件数 R元実績: 延べ1,150件(+134件) H30実績: 延べ1,016件</p> <p>★生殖医療科採卵件数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>282件</td> <td>330件</td> <td>283件</td> <td>▲48件</td> <td>▲1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>□胚移植件数 R元実績: 445件(▲13件) H30実績: 458件</p> <p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NICU・GCUの受入患者数は、対前年度では増加したものの、目標を若干下回った。</li> <li>しかし、成育医療センターとして新生児搬送受入や緊急母体搬送受入に対応し、地域の周産期医療に貢献できた。</li> <li>・当院での分娩件数の減少に連動した形で、ハイリスク分娩も減少傾向にあるが、産後の心理的ケアなど、産後2週間健診等に取り組み、育児のための支援を実施することができた。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の周産期医療における、当院の役割を検討していく必要がある。</li> <li>・県内の分娩数が急激に減少しているなか、妊婦の方などが受診しやすい環境を整備し、患者・分娩件数の維持に努める必要がある。</li> </ul> <p>広島県出生数は令和元年: 20,677人と平成30年: 21,950人から▲1,273人となり約6%減であり、対象患者数の減少が続くと予測される。</p> <p><b>広島県出生数</b></p> <table border="1"> <caption>広島県出生数 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>出生数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>24</td><td>25,000</td></tr> <tr><td>25</td><td>24,500</td></tr> <tr><td>26</td><td>24,000</td></tr> <tr><td>27</td><td>23,500</td></tr> <tr><td>28</td><td>23,000</td></tr> <tr><td>29</td><td>22,500</td></tr> <tr><td>30</td><td>22,000</td></tr> <tr><td>令和元年</td><td>20,677</td></tr> </tbody> </table> <p>数値は前年10月1日から当年9月30日の集計数値</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	10,189人	10,400人	10,056人	▲211人	+133人	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	131件	150件	160件	▲19件	▲29件	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	282件	330件	283件	▲48件	▲1件	年	出生数	24	25,000	25	24,500	26	24,000	27	23,500	28	23,000	29	22,500	30	22,000	令和元年	20,677
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																																													
10,189人	10,400人	10,056人	▲211人	+133人																																													
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																																													
131件	150件	160件	▲19件	▲29件																																													
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																																													
282件	330件	283件	▲48件	▲1件																																													
年	出生数																																																
24	25,000																																																
25	24,500																																																
26	24,000																																																
27	23,500																																																
28	23,000																																																
29	22,500																																																
30	22,000																																																
令和元年	20,677																																																



# I 医療機能の強化 ④がん医療の強化

## 《取組方針》

- ・高度急性期病院に相応しいがん医療を提供するため、遺伝子解析を活用した診断に基づく最適治療を推進するとともに、医療の高度化に対応した低侵襲治療の充実を図ります。
- ・患者や地域に分かり易い、高度で特色ある医療機能を発揮するため、複数診療科が連携・協働する専門医療のセンター化を実施します。(呼吸器センター・消化器センター)
- ・広島がん高精度放射線治療センター(HIPRAC)と緊密に連携し、より高度な放射線治療を推進します。

	H30	R元
自己評価	○	◎
委員評価	○	◎

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括																														
<p><b>がん医療機能の強化</b></p> <p>○がん医療体制の強化 (消化器センター) ・早期手術を希望された患者さんに、2週間以内での手術実施 ・消化器疾患カンファレンス(カンサーボード)の開催[週1回] ・消化器の胆膵系のカンファレンスの開催[月1回] (呼吸器センター) ・病診連携を推進し症例による機能分化と逆紹介の推進 逆紹介率 R元:108.5%(+25%) H30:83.5% ・がんゲノム医療パネル検査実施 (R元実績:56件)</p> <p>○がんゲノム医療の推進 ・カウンセリング件数(R元:22件) ・ゲノムカンファレンス[月1回:第3月曜日]</p> <p>○がん診療連携(地域連携)の強化 ・がん診療連携拠点病院共催市民講演会の開催[年1回] (二次医療圏内の5拠点病院との共催) ・がん医療従事者研修会の開催[年3回] (院内参加者:96人, 院外参加者:55人) ・「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」 の開催[R2.2.6](院内参加者:25人, 院外参加者12人) ・広島がん高精度放射線治療センターとの連携推進</p> <p>○がん化学療法外来化の推進</p> <p>○がん専門医よろず相談所の継続[H26.7～]</p>	<p>★がん患者数(入院)【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,456人</td> <td>5,100人</td> <td>4,869人</td> <td>+356人</td> <td>+587人</td> </tr> </tbody> </table> <p>★消化器センター新規入院患者数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,598件</td> <td>2,460件</td> <td>2,574件</td> <td>+138件</td> <td>+24件</td> </tr> </tbody> </table> <p>★呼吸器センター新規入院患者数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,678件</td> <td>1,560件</td> <td>1,595件</td> <td>+118件</td> <td>+83件</td> </tr> </tbody> </table> <p>□悪性腫瘍手術件数 R元実績:1,020件(+32件) H30実績:988件 うち低侵襲手術件数 R元実績:431件(+56件) H30実績:375件</p> <p>□6大がん連携パス登録医療機関数(※R2.3.31現在) R元:585施設(+19施設) H30:566施設</p> <p>□6大がん地域連携パス適用件数 R元実績:331件(+27件) H30実績:304件</p> <p>□広島がん高精度放射線治療センターへの紹介患者数 R元実績:51人(+19人) H30実績:32人</p> <p>□外来化学療法加算件数 R元実績:7,578件(+255件) H30実績:7,323件</p> <p>□がん専門医よろず相談所の相談件数 R元実績:116件(▲6件) H30実績:122件</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	5,456人	5,100人	4,869人	+356人	+587人	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	2,598件	2,460件	2,574件	+138件	+24件	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	1,678件	1,560件	1,595件	+118件	+83件
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																											
5,456人	5,100人	4,869人	+356人	+587人																											
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																											
2,598件	2,460件	2,574件	+138件	+24件																											
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																											
1,678件	1,560件	1,595件	+118件	+83件																											
	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者数(入院)は前年度実績及び目標を上回ることができた。</li> <li>・消化器センターと呼吸器センターの新規入院患者数について、診療科の連携を強化することにより、目標を達成することができた。</li> <li>・当院のがんゲノム医療を推進に向け、パネル検査を多数実施できた。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんゲノム医療への要望が多くなると思われるため、院内体制を充実する必要がある。</li> <li>・放射線治療機器(リニアック)が導入後14年経過し、故障等も多く発生しており、高額な医療機器であるが、更新を検討する必要がある。IMRT(強度変調放射線治療)が不可能なため、治療件数も減少している。</li> </ul> <p>リニアック治療件数(件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,519</td> <td>8,134</td> <td>7,703</td> <td>7,113</td> <td>7,122</td> <td>6,359</td> <td>5,543</td> </tr> </tbody> </table> <p>※治療件数を総合入院体制加算1の基準である4,000件/年を維持する必要がある。</p>	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	9,519	8,134	7,703	7,113	7,122	6,359	5,543																
H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元																									
9,519	8,134	7,703	7,113	7,122	6,359	5,543																									

※低侵襲手術件数:悪性腫瘍手術の中で腹腔鏡、内視鏡、胸腔鏡、ラジオ波が名称に入っているものを抽出

# I 医療機能の強化 ⑤医療安全の確保

《取組方針》

・地域の医療機関と連携した院内感染対策に取り組むとともに、医療安全対策の徹底を図り、引き続き、医療事故の防止に努めます。

	H30	R元
自己評価	◎	○
委員評価	◎	○

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括
<p><b>医療安全の確保</b></p> <p>○医療安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全と感染対策に係る研修会の同時開催及びWEB研修の開催で参加率向上</li> <li>・安全な投薬プロセスの見直し 内服薬に関するインシデントが前年度より14%減少した。</li> <li>・病棟における薬剤管理においてマニュアルの逸脱行為事案が発生。マニュアルの改定に伴い遵守状況を巡視確認、3月の巡視では遵守できている事を確認した。</li> </ul> <p>○地域の医療機関等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者に向けた公開研修会の開催</li> <li>・広島医療安全管理者ネットワーク会議の開催〔年2回〕 (県内500床以上の急性期病院で構成)</li> <li>・感染防止対策加算取得施設との合同カンファレンスの開催〔年4回〕</li> <li>・感染防止対策地域連携加算取得施設との相互巡視の実施</li> </ul> <p>○地域の医療機関等への医療安全研修会の講師等派遣〔年5回〕</p>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒・転落発生率(レベル2以上)は目標に比べ、前年度同様に低いレベルを維持できている。</li> <li>・研修会への全職員の参加を促進したことにより、医療安全と感染症対策の研修会の参加率100%を維持した。</li> <li>・地域の医療機関との連携による研修会の開催など、地域全体での医療安全に取り組むことができた。</li> <li>・病院の廊下において、高齢者や認知症患者などの転倒事例が増えたことにより、アクシデント件数が前年度から増加した。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクシデント事例を病院内で確実に共有し、引き続き再発防止に取り組む必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症を院内で発生させないよう、感染症対策の徹底を図る必要がある。</li> </ul>

★転倒・転落発生率(レベル2以上)【重点指標】

R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比
0.00031	0.00050	0.00031	▲0.00019	±0

(参考)全国平均値:0.00089

※全国自治体病院協議会公表「医療の質の評価・公表事業等推進病院」より

□医療安全と感染にかかる研修会の研修参加率  
(全職員に占める研修参加率 ※年2回以上の参加割合)

- ・医療安全:100%(±0%) H30:100%
- ・感染症対策:100%(±0%) H30:100%

□研修会実施件数

- ・R元:41回/年(▲15回) H30:56回/年
- 医療安全:23回/年, 感染症対策:18回/年

□アクシデント件数(事故レベル3b~5)

- ・R元:23件(+12件) H30:11件

□患者を含めたインフルエンザアウトブレイクの件数

- ・R元:0件(△1件) H30:1件

# I 医療機能の強化 ⑥医療の質の向上

## 《取組方針》

- ・個人情報の保護を図りつつ、NDB(ナショナルデータベース)や診療情報に関するデータを比較・活用し、医療の質の向上や効率化のための分析を進めます。
- ・多職種が専門性を活かして連携し、症例検討会を行うなど、チーム医療の充実を図ります。
- ・広島県が主催する治験に関する事業への参加などを通じて他病院と協力しながら、治験や臨床研究への取組を進め、医療水準の向上に貢献します。
- ・DPC病院Ⅱ群の維持に向けて、必要な要件を充足します。

	H30	R元
自己評価	○	○
委員評価	○	

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括
<p><b>医療の質の向上</b></p> <p>○クリニカルパスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用率の低い診療科の個別ヒアリング</li> <li>・パスの入院期間の見直し実施</li> </ul> <p>○チーム医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種からなる7チームが院内で横断的に活動 〔栄養サポート、褥瘡対策、糖尿病、摂食・嚥下、緩和ケア、認知症ケア、精神科リエゾンチーム〕</li> <li>・早期離床・リハビリテーション加算の実施〔R2.3月～開始〕 〔再掲〕</li> </ul> <p>○病院指標の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月ごとに病院の臨床データを全国自治体病院協議会に提出し、全国との比較(臨床評価指標を作成し、病院HPで公開)</li> <li>・DPCデータから、各診療科別の主要疾患の診療データ等を病院HPで公開</li> </ul>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリニカルパス使用率が前年度実績を下回ったが、全国平均以上は維持した。</li> <li>・チーム医療の算定件数は、入院期間が短くなってきていることによる介入機会の低下、入院患者の減少に伴う算定件数の低下などがみられる。</li> <li>・誤嚥性肺炎再入院率については、全国平均以上を維持した。</li> <li>・早期離床リハビリテーション加算の取得に向けて取り組んだ。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国自治体病院協議会の公表データ等を活用して、医療の質の向上に取り組む必要がある。</li> <li>・透析予防管理外来は、指導できる職員が不足し、中止せざる得ない状況となっている。</li> </ul>
<p>□クリニカルパス使用率(患者数)</p> <p>R元:44.8%(▲0.2%) H30:45.0%</p> <p>R元(全国平均):43.8%</p> <p>※全国自治体病院協議会公表「医療の質の評価・公表事業等推進病院」より クリニカルパスの承認件数[新規7件、再承認317件]</p> <p>□チーム医療の算定件数</p> <p>①栄養サポートチーム算定件数 R元実績:1,132件(+264件) H30実績:868件</p> <p>②褥瘡ハイリスク患者ケア算定件数 R元実績:3,832件(+81件) H30実績:3,751件</p> <p>③糖尿病透析予防チーム算定件数 R元実績:0件(▲24件) H30実績:24件</p> <p>④周術期口腔機能管理算定件数 R元実績:6,020件(▲255件) H30実績:6,275件</p> <p>⑤摂食機能療養算定件数 R元実績:445件(▲617件) H30実績:1,062件</p> <p>⑥認知症ケア算定件数 R元実績:1,813件(▲310件) H30実績:2,123件</p> <p>⑦精神科リエゾン算定件数 R元実績:88件(▲9件) H30実績:97件</p> <p>□在宅復帰率</p> <p>R元:88.3%(▲0.1%) H30実績:88.4%</p> <p>R元(全国平均):89.1%</p> <p>※全国自治体病院協議会公表「医療の質の評価・公表事業等推進病院」より</p> <p>□誤嚥性肺炎再入院率</p> <p>R元:4.4%(△0.5%) H30実績:4.9%</p> <p>R元(全国平均):6.7%</p> <p>※全国自治体病院協議会公表「医療の質の評価・公表事業等推進病院」より</p>	



# I 医療機能の強化 ⑦危機管理対応力の強化

	H30	R元
自己評価	◎	◎
委員評価	◎	◎

## 《取組方針》

- ・広域災害を念頭に基幹災害拠点病院として災害・感染症発生時に情報の収集・共有を迅速に行うため、地域医療機関等との連携を強化します。
- ・津波による浸水被害想定を踏まえ、計画的な施設整備に努めます。
- ・DMAT隊員の育成・研修を継続し、迅速に対応可能な体制を維持します。
- ・地域関係者を含めた訓練・研修の実施などによる危機管理対策に取り組みます。

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括
<p><b>災害対策の強化</b></p> <p>○災害対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内災害訓練の実施</li> </ul> <p>○感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員会の開催</li> <li>・感染症に関する研修会の実施</li> <li>・医療従事者に向けた公開研修会の開催</li> </ul> <p>○DMAT隊員の育成・研修の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム数：4隊編成可能</li> <li>・構成：医師6人、看護師7人、業務調整員7人(放射線技師2人、臨床工学技士1人、薬剤師1人、臨床検査技師1人、管理栄養士1人、事務職員1人)</li> <li>・DMAT育成研修参加(14回)</li> </ul> <p>○令和元年度DMATの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ教皇来広に係る救護班の派遣(国際会議場) 3名</li> </ul>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMAT研修や訓練については、ほぼ目標の件数に参加でき、院内の体制を維持することができたが、目標件数に1件届かなかった。</li> <li>・広域災害を通じて、基幹災害拠点病院としての責任を再認識したことで、H31から県の災害医療従事者研修の受託に向けた調整を図るなど、基幹災害拠点病院として、院内だけでなく、県内の人材育成の加速化に貢献している。</li> <li>・患者や職員用の飲料水等の備蓄を実施した。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害備蓄、災害(浸水等)時への備え</li> <li>・防災設備等の設置・改修等</li> <li>・今後も研修会の中止や延期なども考えられるが、研修等には積極的に参加する必要がある。</li> </ul>

### ★DMAT研修等件数【重点指標】

R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比
19件	20件	16件	▲1件	+3件

(院内)

- ・トリアージ訓練：31名参加
- ・防災訓練：NICUで実施

(院外)

- ・集団災害医療救護訓練：4名(三次中央病院)
  - ・爆弾テロ災害対応訓練：5名  
(紙屋町地下街シャレオ及びその周辺)
  - ・DMATブラッシュアップ研修：5名
  - ・令和元年度都道府県災害医療コーディネータ研修：1名等
- (基幹研修)
- ・Hi-LAT隊員養成研修
  - ・災害拠点病院災害対応研修 (4回)

# I 医療機能の強化 ⑧地域連携の強化

## 《取組方針》

- ・地域完結型医療への転換に向けて、急性期を脱した患者の転・退院や在宅移行の支援、患者急変時の積極的受入れなど、地域の医療機関等と連携した地域包括ケアシステムを推進します。
- ・入退院支援の機能を充実し、紹介患者の受入れ体制の強化や丁寧な逆紹介を推進するとともに、地域連携クリニカルパス運用の円滑化を図り、パスを活用した地域の医療機関との連携を通して、高度急性期病院としての機能の充実を図ります。
- ・地域医療支援病院として、引き続き救急・専門医療に関する支援や、高度な医療機器の共同利用などを通じた支援の充実を図ります。
- ・病院が保有する診療情報を地域の医療機関と共有する、情報システムを活用したネットワークの拡大を図るため、「ひろしま医療情報ネットワーク」(HMネット)への参加・接続を行います。

	H30	R元
自己評価	◎	◎
委員評価	○	◎

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括																				
<p><b>地域医療連携</b></p> <p>○地域の医療機関等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師同伴による医療機関訪問の実施</li> <li>・地区医師会との懇談会の開催               <ol style="list-style-type: none"> <li>①広島市中区医師会(医師会参加者:48人)</li> <li>②広島市歯科医師会(医師会参加者:27人)</li> <li>③広島市南区医師会(医師会参加者:51人)</li> </ol>               [参考:H30 南区・西区医師会, 広島市歯科医師会, H29 南区・東区医師会]             </li> <li>・南区医師会との連携による研修会 (在宅ケアサポート研修会の開催[年2回, 参加者:177人])</li> <li>・病診連携カンファレンスの開催[年1回, 参加者:30人]</li> <li>・地域連携推進カンファレンスの開催[参加者:61人, 24施設]</li> <li>・病診連携談話会の開催[年1回, 参加者:79人, 27施設]</li> </ul> <p>○地域医療機関へのアンケート調査を実施(R元.9月)</p> <p>○入院サポート業務の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院サポートの介入を全診療科(精神科・緩和ケア除く)に拡大</li> <li>・入退院支援に関する患者満足度調査を実施</li> <li>・治療と仕事の両立支援の相談体制の推進(相談件数:27件)</li> </ul> <p>○広島市医師会運営の病院群輪番制度への参加【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外科輪番[H29.3～ 月2回程度]</li> <li>・整形外科輪番[H29.7～ 月2回程度]</li> </ul> <p>○患者・地域住民を対象とした講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域巡回講演会(年9回)</li> </ul>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師同伴での医療機関訪問や、地域医師会との懇談会、病診連携カンファレンスの開催など、地域医療機関との連携・交流を推進することにより、かかりつけ医との連携を深めることができ、紹介率・逆紹介率とも目標を達成することができた。</li> <li>・入院サポート業務の対象診療科を全診療科に拡大し、実施件数が増加した。</li> <li>・開業医へのアンケート調査、入退院支援の満足度アンケートを実施し実態調査を行った。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開業医に対するアンケート調査では、当院へ紹介する開業医の方の評価は概ね高かったが、開業医に訪れる患者が紹介先病院を選択する際に、県病院を希望する件数は多いとは言えず、診療内容や特徴が十分PRできていないという結果であった。</li> <li>新聞等の取材を積極的に受けるなど、一般向けの周知に取り組む必要がある。</li> </ul>																				
<p>★患者紹介率【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.5%</td> <td>87.0%</td> <td>93.4%</td> <td>+6.5%</td> <td>+0.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>★患者逆紹介率【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120.6%</td> <td>107.0%</td> <td>125.6%</td> <td>+13.6%</td> <td>▲5.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>□医療機関訪問件数</p> <p>R元実績:303施設(+156施設) H30実績:147施設 うち医師同伴件数</p> <p>R元実績:125施設(+44施設) H30実績:81施設</p> <p>□入院時支援加算件数</p> <p>R元実績:4,010件(+3,052件) H30実績:958件</p> <p>□入退院支援加算件数</p> <p>R元実績:8,790件(+4,087件) H30実績:4,703件</p> <p>□KBネット接続医療機関数(R2.3現在)</p> <p>R元実績:255施設(+3施設)</p> <p>□6大がん連携パス登録医療機関数【再掲】</p> <p>R元実績:585施設(+19施設) H30実績:566施設</p> <p>□6大がん地域連携パス適用件数【再掲】</p> <p>R元実績:331件(+27件) H30実績:304件</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	93.5%	87.0%	93.4%	+6.5%	+0.1%	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	120.6%	107.0%	125.6%	+13.6%	▲5.0%	
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																	
93.5%	87.0%	93.4%	+6.5%	+0.1%																	
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																	
120.6%	107.0%	125.6%	+13.6%	▲5.0%																	

## II 人材育成機能の維持 ⑨医療人材の育成・確保

### 《取組方針》

- ・(医師)初期臨床研修プログラム等の充実を図り、県内外からの医師確保・育成に積極的に取り組みます。
- ・(医師)指導医を適切に配置するとともに、学会、セミナー等への参加機会を拡充します。
- ・(看護師等)認定・専門資格などを有する看護師、薬剤師、診療放射線技師、検査技師等を計画的に養成します。
- ・(看護師等)地域の医療従事者向け実務研修を積極的に主催します。
- ・(看護師等)実習教育の受入を積極的に行うなど、地域医療で活躍する人材の育成・支援に取り組みます。
- ・(人材派遣)地域での講演会への職員講師派遣等を通して、地域の医療水準の維持・向上に努めます。
- ・(人材派遣)へき地医療拠点病院として、引き続き、医師が不足する中山間地域における地域医療の確保に取り組みます。

	H30	R元
自己評価	◎	○
委員評価	◎	○

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括																																				
<p><b>医師の確保・育成</b></p> <p>○院内に「臨床研修センター」を設置(H28)し、医科臨床研修(初期・後期)、歯科医師臨床研修、新専門医制度等を統括的に対応 〔初期臨床研修マッチングの状況 定員16名、マッチ者数16名、マッチ率100%(±0%)〕</p> <p>○初期臨床研修医の広島県内への定着率:当院 93.8%(+8.1%)</p> <p>○医学生の実習受入、病院見学の受入を実施</p> <p>★指導医数【重点指標】 136人(▲1人) (歯科医師含む)</p> <p>臨床研修指導医の養成(指導医及び指導医講習会受講者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導医数</td> <td>135人</td> <td>136人</td> <td>135人</td> <td>▲1人</td> <td>±0人</td> </tr> <tr> <td>うち指導医講習会受講者数</td> <td>96人 (7人)</td> <td></td> <td>96人 (7人)</td> <td></td> <td>±0人 (±0人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※歯科医を除く。( )内は当該年度の受講者数</p>		R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	指導医数	135人	136人	135人	▲1人	±0人	うち指導医講習会受講者数	96人 (7人)		96人 (7人)		±0人 (±0人)	<p>臨床実習の受入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">R元実績</th> <th colspan="2">H30実績</th> <th colspan="2">前年度比</th> </tr> <tr> <th>受入者数</th> <th>うち診療参加型</th> <th>受入者数</th> <th>うち診療参加型</th> <th>受入者数</th> <th>うち診療参加型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>586人</td> <td>3人</td> <td>575人</td> <td>9人</td> <td>+11人</td> <td>▲6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導医数は1名目標に達していないが、前年度と同人数を維持した。</li> <li>・新人看護師の離職率については、目標を達成できなかった。(退職者は2人(24人中)であったが、当該年度の採用者数が少なかったため、割合が高くなった。)</li> <li>・院内研修への地域医療従事者の受入れや、職員の講師派遣の回数が目標を達成し、地域の医療人材の育成にも貢献することができた。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の基幹病院として、引き続き人材育成面で中核的役割を果たすため、若手医師の確保を図り、充実した臨床研修を実施する必要がある。</li> </ul>	R元実績		H30実績		前年度比		受入者数	うち診療参加型	受入者数	うち診療参加型	受入者数	うち診療参加型	586人	3人	575人	9人	+11人	▲6人
	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																																
指導医数	135人	136人	135人	▲1人	±0人																																
うち指導医講習会受講者数	96人 (7人)		96人 (7人)		±0人 (±0人)																																
R元実績		H30実績		前年度比																																	
受入者数	うち診療参加型	受入者数	うち診療参加型	受入者数	うち診療参加型																																
586人	3人	575人	9人	+11人	▲6人																																
<p><b>看護師等の確保・育成</b></p> <p>○認定看護師の育成・確保</p> <p>○医師、看護師、メディカルスタッフを対象に、外部講師による患者に選ばれる病院の条件と職員の資質などについて、接遇研修を開催(11/22)</p> <p>○地域の医療従事者向け実務研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全、感染症対策、新人看護師、がん医療従事者、救命救急士、NST専門療法士研修 など</li> </ul> <p>★新人看護師の離職率【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8.3%</td> <td>5%以下</td> <td>2.4%</td> <td>+3.3%</td> <td>+5.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実数(R元:2人/24人、H30:1人/41人)</p> <p>★院内研修への地域医療従事者の参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>567人</td> <td>450人</td> <td>620人</td> <td>+117人</td> <td>▲53人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□認定・専門看護師数 R元:38人(+1人)(R2.6月時点) H30:37人</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	8.3%	5%以下	2.4%	+3.3%	+5.9%	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	567人	450人	620人	+117人	▲53人																	
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																																	
8.3%	5%以下	2.4%	+3.3%	+5.9%																																	
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																																	
567人	450人	620人	+117人	▲53人																																	
<p><b>医療人材の派遣等</b></p> <p>○医療人材の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関や他の医療施設などから派遣依頼を受託し、医師や認定看護師を中心に派遣</li> </ul> <p>○医師の診療応援・代診医の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神石高原町立病院等に派遣</li> </ul> <p>★医師・看護師等の講師派遣回数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>289回</td> <td>200回</td> <td>257回</td> <td>+89回</td> <td>+32回</td> </tr> </tbody> </table> <p>□診療応援・代診医派遣回数 R元実績:40件(▲17件) H30実績:57件</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	289回	200回	257回	+89回	+32回																											
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																																	
289回	200回	257回	+89回	+32回																																	

### Ⅲ 患者満足度の向上 ⑩患者満足度の向上・広報の充実

《取組方針》

- ・患者からの意見・要望(患者意見書)へ適切に対応するとともに、満足度の向上に向けた対策を講じます。
- ・患者及び家族の相談に積極的に対応する相談窓口の機能充実を図ります。
- ・電子カルテの活用や診療時間の見直しなどにより待ち時間の大幅な改善に努めます。
- ・駐車場不足への対応や案内表示等の改善に努めます。
- ・療養環境改善のため、病棟における設備、病室の改修を行います。
- ・ホームページの充実による病院の診療実績や最新の取組などのタイムリーな情報発信、冊子の作成や地域への訪問活動、マスコミ等を活用した取組の発信など、強みや特色を積極的にPRします。
- ・患者、地域住民を対象とした講演会の開催や各種行事等への参画により、医療情報の発信や医療への理解促進に努めます。

	H30	R元
自己評価	○	○
委員評価	○	○

《R元》 取組項目 / 取組内容		取組総括																				
<p><b>患者満足度の向上</b></p> <p>○患者アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院:11月~12月入院患者(配付:700枚,回収率:83.0%)</li> <li>・外来:12月初診・再診患者(配布:2,700枚,回収率:72.5%)</li> </ul> <p>○外来・駐車場待ち時間の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場待ち時間対策として、無料送迎バス(イオン宇品店⇄当院)を継続運行             <ul style="list-style-type: none"> <li>①駐車場待ち車列の無い日 R元:139/241日, 57.7%(+11%) H30:114/244日, 46.7%</li> <li>②送迎バス利用者数 R元:21,095人(▲819人)</li> </ul> </li> </ul> <p>○療養環境の改善</p> <p>○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減</p>		<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者アンケートの満足度においては、「外来待ち時間の満足度」が目標を達成することができなかったが、入院・外来の総合満足度は目標数値を達成できている。</li> <li>・地域での健康増進や医療に関する知識の普及を目的に地域巡回講演会を実施し、病院ホームページでは病院情報や治療情報を提供できた。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者アンケートでも出ているとおり、待ち時間をいかに解消するかが課題であり、午後外来への移行などによる分散化や、待ち時間が苦にならないような取組を行う必要がある。</li> <li>・外来を少なくするためには、オンラインや電話等での診療なども検討する必要がある。</li> </ul>																				
<p><b>広報の充実</b></p> <p>○広報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院ホームページの充実</li> <li>・地域巡回講演会(疾病予防・最新治療等)の開催〔年9回,参加者数:497名〕</li> <li>・地域健康フォーラムの開催〔10/12,参加者87人〕</li> <li>・JICA研修視察受入(9/6)</li> </ul>		<p>★地域巡回講演会等の開催回数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>▲1回</td> <td>▲1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>★HP閲覧件数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17.5万件/月</td> <td>15万件/月</td> <td>15.5万件/月</td> <td>+2.5万件</td> <td>+2.0万件</td> </tr> </tbody> </table> <p>□後発医薬品使用数量割合(入院) R元実績:87.8%(+2.8%) H30実績:85.0%</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	9回	10回	10回	▲1回	▲1回	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	17.5万件/月	15万件/月	15.5万件/月	+2.5万件	+2.0万件
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																		
9回	10回	10回	▲1回	▲1回																		
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																		
17.5万件/月	15万件/月	15.5万件/月	+2.5万件	+2.0万件																		



### Ⅲ 患者満足度の向上 ⑪業務改善

	H30	R元
自己評価	◎	◎
委員評価	◎	◎

《取組方針》

- ・医療の質など、患者満足度の向上に繋がるTQM活動や5S活動などの改善活動に積極的に取り組み、組織風土としての定着を図ります。
- ・検査・放射線・手術部門等の運用見直し(スタッフ構成数、シフト、案内方法等の改善)や効果的時間配分など、入院治療中心への段階的転換に向けた効率化を図ります。
- ・国際水準の機能強化を図るため、検査部門のISOの認定取得を目指します。

《R元》 取組項目 / 取組内容		取組総括											
<p><b>改善活動</b></p> <p>○TQMサークル活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的:QC的問題解決手法の学習,組織活性化</li> <li>・活動サークル:15サークル(H27からの累計:70サークル)</li> <li>・活動期間:平成31年1月~令和2年2月 (※発表大会,継続報告会2月)</li> </ul> <p>○5S活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「モノの5S」を実施(整理,整頓,清掃,清潔,躰)</li> <li>・半期ごとにラウンドの実施,取組状況を評価し,特に成果を上げた部署を表彰</li> </ul> <p>○院外への普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TQMサークル活動 マツダ病院及び市立三次中央病院と共催し,研修会を実施 [R元.10.12 参加者数:224名,参加施設数:53施設] 外部講師:倉敷中央病院 経営企画部長 中島 雄一 氏</li> <li>・5S活動 広島市医師会臨床検査センターと共催で研修・見学会を実施 [R元.9.19 参加者数:56名,参加施設数:29施設] 外部講師:(株)ベーシック・マネジメント研究所代表 高原 昭男 氏</li> <li>・改善活動 「職員業務改善提案制度」職員から提案を募集し提案された内容について検討し必要な改善を実施,良い提案を表彰</li> <li>・JICA視察 独立行政法人国際協力機構(JICA)の視察団の受入を実施 [R元.9.6 アジア・アフリカから18名]</li> </ul>		<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続してTQMに取り組んだことから,手法取得者数(累計)の目標を達成することができた。</li> <li>・院外の医療機関と連携した研修会開催などに取り組むことができた。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善活動に関わる人材を継続的に育成する必要がある。</li> </ul>											
<p>★TQM手法取得者数(累計)【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450人</td> <td>450人</td> <td>348人</td> <td>±0人</td> <td>+102人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R元:TQMサークルの主な活動内容)[金賞受賞1期,2期]</p>		R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	450人	450人	348人	±0人	+102人		
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比									
450人	450人	348人	±0人	+102人									
部署	テーマ	改善効果	内容										
栄養管理科	特別食対象患者における「その他の疾患」病名の減少	【その他の疾患選択の減少】 41.2%⇒31.1% ※10.1%減 特別食加算金額+150万円の増収と予想	病院食は「特別食」を選択し,特別食に定められている病名が合えば診療報酬算定ができる。特別食を提供すると病院の収入アップ,患者に適切な食事が提供され治療効果も上がる。しかし特別食の加算は病名選択が必須条件だが「その他の疾患」では加算算定はできない。そこで,別食加算算定手順シートや食種と加算病名の対応表や「その他の疾患」を選ぶ基準を作成して配布,医師の適切な入力との周知と,管理栄養士が栄養管理計画書作成時に食種と病名を確認して,適切な加算病名の入力作業を行い,「その他の疾患」選択の割合を減少させた。										
西4病棟	西4病棟における分娩室点検時間の縮減	西4病棟における点検時間 27分/回⇒平均5分/回 ※病棟から持参していた物品の削減	分娩室には分娩及び新生児の蘇生に必要な物品が多く,物品の補充・点検等の整備作業は,常に円滑な業務を行うために必要である。点検が必要な物品が密集しているため物品の確認作業に時間を要し効率的に行っていない現状。そこで病棟から持参しなくてもよいものは協議の上,手術室の物品を使用できるように調整し,点検方法の統一化を図り,点検マニュアルを作成しスタッフへ提示。手術室に物品を集約することで,点検時間を縮減させた。これにより,患者のケアにかかる時間が増え,短時間で点検が済むことで職員の精神的な負担も減少した。										



## IV 経営基盤の強化 ⑫経営力の強化

### 《取組方針》

- ・基本理念、経営目標、経営情報、目標数値等を共有し、ベンチマーク分析を行います。
- ・医療需要の把握、医療情報による経営分析、クリニカルパスの見直しなどにより、経営の効率化を図ります。
- ・診療情報管理士等の事務系専門資格職の採用・育成や事務組織の見直し等を行い、事務部門の強化を図ります。
- ・規模・機能の見直しに伴う職員数の適正化、施設基準と配置の比較衡量を適切に行います。
- ・医療需要や採算性・効率性・優先順位等に留意しながら、施設・医療機器等の計画的・重点的な整備を行います。
- ・必要に応じた病床規模や診療科構成の見直しを行い、効率的な病床運営を行います。

	H30	R元
自己評価	○	△
委員評価	○	△

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括																				
<p><b>経営力の強化</b></p> <p>○情報共有とPDCA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の診療科会議・看護部会議で各月の経営状況を示して、病院の経営情報を共有</li> <li>・新規入院患者の確保等に関する院長ヒアリングを実施し、各診療科毎に分析</li> </ul> <p>○病棟・病床運営の弾力的な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な入院期間のチェックを行う仕組みづくり</li> <li>・看護必要度のリアルタイムの確認や定期的な病棟毎の検証</li> </ul> <p>○高度急性期機能を目指しDPC特定病院群の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な在院日数</li> <li>・入院期間Ⅱ超えの削減</li> </ul>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規入院患者数、病床稼働率ともに前年度を下回り、目標を達成することができなかった。</li> <li>・在院日数の適正化による、在院日数の短縮が図られた。</li> <li>・入院期間Ⅱ超えの退院患者割合を低くする取組の結果、前年から0.9%改善した。</li> <li>・特定分野などの疾患を行う医師の異動、退職に伴い、一部の診療科で大きく患者数が減少した。診療科の特徴やPRが十分できていないと考えている。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、新規入院患者が減少傾向であり、病床等の適正な規模を検討する必要がある。</li> <li>・引き続き適切な在院日数、重症度、医療・看護必要度を維持する病床運営が必要である。</li> <li>・病院の医療内容や医師を広くPRする必要がある。</li> </ul>																				
<p>★新規入院患者数【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,825人</td> <td>17,000人</td> <td>16,834人</td> <td>▲175人</td> <td>▲9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>★病床稼働率(700床)【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.3%</td> <td>87.9%</td> <td>78.1%</td> <td>▲10.6%</td> <td>▲0.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R元:85.6%(稼働病床632床) H30:79.7%(稼働病床688床)</p> <p>□手術件数(手術室)</p> <p>R元実績:6,627件(▲528件) H30実績:7,155件</p> <p>□重症度,医療・看護必要度Ⅰ(7対1病棟)</p> <p>R元実績:36.6%(+0.3%) H30実績:36.3%</p> <p>□平均在院日数</p> <p>R元実績:10.5日(△0.2日) H30実績:10.7日</p> <p>□入院期間Ⅱ超えの割合</p> <p>R元実績:26.7%(△0.9%) H30実績:27.6%</p>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	16,825人	17,000人	16,834人	▲175人	▲9人	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	77.3%	87.9%	78.1%	▲10.6%	▲0.8%	
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																	
16,825人	17,000人	16,834人	▲175人	▲9人																	
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比																	
77.3%	87.9%	78.1%	▲10.6%	▲0.8%																	

#### IV 経営基盤の強化 ⑬増収対策

《取組方針》

- ・診療報酬改定や国の制度変更に迅速に対応する仕組みを作り、各種加算の取得等に努めます。
- ・使用料・手数料の新設・改定を行います。
- ・診療報酬制度の情報共有と適正な保険診療の推進に努めるとともに、専門スタッフを育成し、適正な診療報酬請求業務に取り組みます。
- ・未収金の発生防止と効率的な回収対策に取り組みます。

	H30	R元
自己評価	○	○
委員評価	○	○

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括
<p><b>増収対策</b></p> <p>○ 医業収益の増加策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院期間の適正化チームの継続</li> <li>・R2診療報酬改定に向けて改定作業チームで対応</li> </ul> <p>○ 診療報酬請求の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事務業務の委託業者変更</li> <li>・受託者と保留レセプト等の状況確認を毎月実施</li> </ul> <p>○ 未収金対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未収金回収担当の嘱託員2人を継続配置 (訪問・折衝による納付指導, 所在不明者や相続人の調査)</li> <li>・弁護士法人への債権回収業務の委託継続</li> <li>・入院窓口での高額療養費制度の説明・利用促進</li> </ul>	<p>■ 自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院単価は前年度実績及び目標を上回ることができた。</li> <li>・しかし、在院日数の短縮化などにより、延入院患者数が減少となり、病院全体での増収とはならなかった。</li> </ul> <p>■ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、医業収益の増加に向けて、レセプト査定額の縮減など、診療報酬請求の改善に資する取組を行う必要がある。</li> </ul>

★入院単価【重点指標】

R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比
78,977円	69,600円	76,753円	+9,377円	+2,224円

□延入院患者数

R元実績: 197,928人(▲1,682人) H30実績: 199,610人

□レセプト査定額

R元実績: 62,640千円(+17,018千円) H30実績: 45,622千円

レセプト査定率

R元実績: 0.28%(+0.07%) H30実績: 0.21%

□医業未収金(個人)の年度末残高(決算ベース)

R元実績: 202,771千円(△9,744千円) H30実績: 212,515千円

## IV 経営基盤の強化 ⑭費用合理化対策

### 《取組方針》

- ・多様な病院の機能に応じた在庫のあり方の検証や、共同購入や品目・仕様の共通化などの購入方法の見直しにより、品質を担保した上で、収益性や使用効率を踏まえた適正な医薬品・診療材料・器械備品等の採用を進めます。
- ・後発医薬品の利用を拡大します。
- ・業務の見直しを行った上で、委託内容、契約方法の見直しを進めます。
- ・光熱水費などの節約や、省エネルギー対策を推進します。

	H30	R元
自己評価	△	△
委員評価	△	△

《R元》 取組項目 / 取組内容	取組総括										
<p><b>費用合理化対策</b></p> <p>○適正な材料・備品の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質の確保と患者負担の軽減を基本に、数量割合80%以上を目指し、後発医薬品の利用拡大を実施</li> <li>・物品・取扱い業者が共通する病院との共同購入〔H29.10～汎用の医療材料から取組開始〕</li> </ul> <p>○経費の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費の削減について、院内への周知を図る取組実施</li> <li>・照明器具のLED化の推進:救命救急センター、臨床研究検査科、誘蛾灯</li> <li>・ボイラー保温ジャケット設置による放熱対策</li> </ul>	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高額の薬剤や診療材料が増加したことから、費用における材料費比率が上昇し、目標以内に収めることができなかった。</li> <li>・光熱水費については、使用量の抑制により削減することができた。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な医療(がん医療、ゲノム医療等)は材料費が高くなっていくので、母数となる医業収益全体を増加させる必要がある。</li> <li>・費用削減を進めるためには、診療材料や薬品に関する適切な使用や在庫管理、業務契約内容等の見直しを行う必要がある。</li> </ul>										
<p>★材料費/医業収益【重点指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元実績</th> <th>R元目標</th> <th>H30実績</th> <th>目標比</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34.1%</td> <td>30.7%以下</td> <td>31.9%</td> <td>+3.4%</td> <td>+2.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※材料費/医業収益34.1%から消費税UP分を除いた場合:33.8%</p> <p>□後発医薬品使用数量割合(入院)(再掲)</p> <p>R元実績:87.8%(+2.8%) H30実績:85.0%</p> <p>□共同購入による削減額</p> <p>R元実績:19,169千円(▲871千円) H30実績:20,040千円</p> <p>□電気・ガス・水道の使用量・使用金額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気(対前年比):△390,836Kw(△3.0%)</li> <li>・ガス(対前年比):△2,486m<sup>3</sup>(△0.3%)</li> <li>・水道(対前年比):△390,836m<sup>3</sup>(△7.6%)</li> <li>・電気・ガス・水道 使用金額 △25,557千円</li> </ul>	R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比	34.1%	30.7%以下	31.9%	+3.4%	+2.2%	
R元実績	R元目標	H30実績	目標比	前年比							
34.1%	30.7%以下	31.9%	+3.4%	+2.2%							

V 決算, 目標指標 ⑮決算の状況

(単位:千円)

区 分	R元 目標(A)	R元 決算見込(B)	対目標 (B)-(A)
経常収益	24,703,551	24,184,980	▲ 518,571
医業収益	22,905,161	22,413,213	▲ 491,948
入院収益	16,443,793	15,631,828	▲ 811,965
外来収益	5,895,013	6,214,614	▲ 319,601
医業外収益	1,798,390	1,771,767	▲ 26,623
特別利益	30,000	4,059	▲ 25,941
経常費用	24,168,732	24,310,679	▲ 141,947
医業費用	23,649,762	23,758,260	▲ 108,498
給与費	11,961,295	11,829,248	▲ 132,047
材料費	7,301,489	7,641,803	▲ 340,314
経費	2,942,859	2,888,575	▲ 54,284
減価償却費	1,282,605	1,257,682	▲ 24,923
医業外費用	518,970	552,419	▲ 33,449
支払利息	324,322	316,769	▲ 7,553
特別損失	34,660	25,650	▲ 9,010
経常収支	534,819	▲ 125,699	▲ 660,518
特別損益	▲ 4,660	▲ 21,591	▲ 16,931
収支差	530,159	▲ 147,290	▲ 677,449

H30 決算(C)	対前年 (B)-(C)
23,980,543	204,437
21,924,468	488,745
15,320,598	311,230
6,029,194	185,420
2,056,075	▲ 284,308
2,953	1,106
23,678,817	631,862
23,127,660	630,600
11,920,926	▲ 91,678
6,999,932	641,871
2,775,144	113,431
1,300,904	▲ 43,222
551,157	1,262
365,692	▲ 48,923
907,204	▲ 881,554
301,726	▲ 427,425
▲ 904,251	882,660
▲ 602,525	455,235

	H30	R元
自己評価	○	△
委員評価	○	△

取組総括
<p>■自己評価</p> <p>・医業収益は前年から増加したが、その多くが高額な薬剤や診療材料を使った医療に伴う収益増であり、費用の増加に見合う収入増とはならなかった。</p> <p>その結果、経常収支及び損益が目標を下回り、赤字となった。</p> <p>経常収支が赤字となるのは平成20年度以来である。</p>
<p>■課題</p> <p>・新規入院患者が減少し、平均在院日数の減少に伴い延入院患者数も大きく減少した。</p> <p>令和2年度も大変厳しい状況であることから、次期経営計画において、対応を検討する必要がある。</p>

## V 目標指標 ⑩目標指標の達成状況

取組項目(計画)		R元 目標	R元 取組結果	達成 状況
(1)医療機能の強化				
救急	①救急車受入台数	5,850 台	<b>6,049台</b>	★
脳心臓	②脳心臓血管センター新規入院患者数	2,850 人	<b>2,990人</b>	★
成育	③NICU・GCU患者数	10,400 人	<b>10,189 人</b>	未達成
	④緊急母体搬送受入件数	150 件	<b>131件</b>	未達成
	⑤生殖医療科採卵件数	330 件	<b>282件</b>	未達成
がん	⑥がん患者数(入院)	5,100 人	<b>5,456人</b>	★
	⑦呼吸器センター新規入院患者数	1,560 人	<b>1,678人</b>	★
	⑧消化器センター新規入院患者数	2,460 人	<b>2,598人</b>	★
その他	⑨全身麻酔手術件数	4,400 件	<b>4,663件</b>	★
⑩転倒・転落発生率(レベル2以上)		0.00050以下	<b>0.00031</b>	★
⑪DMAT研修等件数		20 件	<b>19件</b>	未達成
⑫患者紹介率		87.0 %	<b>93.5%</b>	★
⑬患者逆紹介率		107.0 %	<b>120.6 %</b>	★
(2)人材育成機能の維持				
⑭指導医数		137 名	<b>136 名</b>	未達成
⑮新人看護師の離職率		5.0 %以下	<b>8.3 %</b>	未達成
⑯院内研修への地域医療従事者の参加者数		450 名	<b>567名</b>	★
⑰医師・看護師等の講師派遣回数		200 回	<b>289回</b>	★
(3)患者満足度の向上				
⑱患者アンケートの満足度(入院)		95.0 %	<b>98.4 %</b>	★
⑲患者アンケートの満足度(外来)		95.0 %	<b>96.6 %</b>	★
⑳患者アンケートの満足度(外来待ち時間)		75.0 %	<b>66.3 %</b>	未達成
㉑TQM手法習得者数(累計)		450 人	<b>450 人</b>	★
㉒地域巡回講演会等の開催回数		10 回	<b>9 回</b>	未達成
㉓HP閲覧件数		15 万件/月	<b>17.5 万件/月</b>	★
(4)経営基盤の強化				
㉔新規入院患者数		17,000 人	<b>16,825 人</b>	未達成
㉕病床稼働率(700床)		87.9 %	<b>77.3 %</b>	未達成
㉖入院単価		69,600 円	<b>78,977 円</b>	★
㉗材料費/医療収益		30.7 %	<b>34.1 %</b>	未達成

取組総括
<p>■自己評価</p> <p>・27項目中、未達成が11項目あるが、その他の16項目は目標を達成する事ができた。</p>
<p>■課題</p> <p>・計画に掲げる目標の達成に向け、引き続き取組を行うとともに、県の地域医療構想に対応できる体制づくりを行う必要がある。</p> <p>・広島県の医療水準の維持向上が図れるよう、県の基幹病院としての役割を果たす必要がある。</p>